

令和2年度 中国地方整備局 受け入れ研修・セミナー 一覧表

R2年5月時点

★新型コロナウイルス感染症を巡る状況により、「中止」若しくは「延期」する場合があります。

受け入れ研修・セミナー名		目的	研修日数	研修時期(予定)	対象者	研修カリキュラムの概要
研修	新任技術係長(河川管理Ⅰ・道路管理Ⅰ)研修	新しく工事監督等現場の実務を実施するにあたり、必要な国土交通行政推進のための諸施策の理解及び技術力、折衝力の養成、現場担当者としての心構えと知識の習得を図る。 河川管理、道路管理担当1年目に必要な基礎的知識の習得を図る。 現場管理、品質管理、検査に関する知識を付与し、併せて、管理者として、今後の国土交通行政に必要な総合的視野に立ったマネジメント能力の養成を図る。	5日間	8/17 ~ 8/21	20歳後半~30歳前半の技術系職員	・新任監督員として必要な監督に関する知識付与と実習を行う。 ・防災、不当要求への対応について基礎的知識の付与を行う。 ・現場における河川・道路管理に必要な基礎的知識の付与と実務についての講義を行う。 ・建設生産システムの知識の付与を行う。
研修	地域マネジメント研修	地域計画・まちづくり計画に関する専門知識や地域の創意工夫を活かした地域づくりを行うための知識を習得させ、地域づくりやまちづくりに対する企画立案能力の向上を図る。	12日間	11/9 ~ 11/20	20代後半~40代前半の地域、まちづくり行政等に携わる職員(事務・技術)	地域づくり・まちづくりについて、法制度や事例に関する知識を付与するとともに、具体的地域を対象にフィールドワーク・ワークショップを行い、地域を元気にするための方策を企画・立案する。 (地域マネジメントの本質、コミュニケーションの手法・演習、地域づくりの実践、整備局と地域づくりの関わり、地域づくりの事例紹介、まちづくりを支援する各種補助制度、道の駅制度、現地の事例紹介、現地研修、課題研究等)
研修	河川技術Ⅰ研修	河川系技術職員に対して、河川・ダム計画調査、環境などに関する専門知識を習得させることにより、実務能力の向上を図る。	9日間	11/24 ~ 12/2	20代後半~40代半ばの河川担当職員	・水理学の基礎的な演習による専門技術力の向上。 ・基本高水、河道計画、氾濫計算までの一連の講義により、専門知識を習得する。 ・堤防の安定性に関する講義により、専門知識を習得する。 ・課題解決に向けた意識の醸成、プレゼンテーション能力の向上を図る。
研修	砂防・土砂災害対応研修	土砂災害に係る各種法令、砂防関係施設の整備(調査・計画・設計・施工)、災害時の対応(緊急点検、土砂法に基づく緊急調査)などの砂防技術に関する総合的な専門知識を付与し、実務能力の向上を図ることを目的とする。	5日間	10/5 ~ 10/9 (注1)	20代後半~40代半ばの土木系技術職員	・砂防概論 ・土砂災害防止関連法令と砂防関係事業の概要 ・砂防関係施設の整備(調査・計画・設計を中心とした演習) ・災害発生時の対応(緊急点検、土砂法に基づく緊急調査に関する実習他)
研修	道路マネジメント研修	道路の計画調査等、道路マネジメント全般に関する専門知識を習得させ、資質の向上を図る。	5日間	11/30 ~ 12/4	20代後半~40代半ばの道路担当職員	道路行政に関する横断的な最新の情報を付与するとともに、道路の調査・計画に必要な知識を付与し、事業PMについて演習を行う。
研修	構造物設計Ⅰ研修	一般構造物(擁壁・圍堰・橋梁)の設計法及び設計成果の照査のポイントを理解し、構造物設計実務に必要な知識を習得させ資質の向上を図る。	5日間	12/14 ~ 12/18	20代~30代前半の土木系技術職員	・橋梁設計について演習を中心として基礎的な知識の付与を行う。 ・一般構造物(擁壁・圍堰・橋梁)の設計手法を理解させ、実務に必要な基礎的知識の付与を行う。
研修	構造物設計Ⅱ研修	構造物の計画・設計に関する専門知識、特に橋梁の耐震設計に特化し、設計法の理解及び設計成果が照査できる技術力を習得させる。また、鋼橋・PC橋のコスト削減を図る新しい取組及び設計手法等について理解を深め、資質の向上を図る。	5日間	9/7 ~ 9/11 (注1)	30~40歳の土木系技術職員	橋梁設計に関する演習を中心とした知識の付与を行う。
研修	橋梁管理実務者Ⅰ(Ⅰ期)研修 橋梁管理実務者Ⅰ(Ⅱ期)研修	道路法施行規則第4条5の2の規定に基づく道路橋、横断歩道橋、付属物、シェッド・大型カルバートの定期点検に関して、最低限必要な知識と技能の習得を図る。	5日間	7/27~7/31 9/14~9/18 (注2)	土木施設の維持管理に係る職員	・道路橋、横断歩道橋、付属物、シェッド・大型カルバートの定期点検・診断の基礎知識 ・点検現場実習(道路橋、横断歩道橋、大型カルバート) ・達成度確認試験(道路橋定期点検) ※Ⅱ期は山陰地区の開催を予定。
研修	橋梁管理実務者Ⅱ研修	橋梁補修、耐震補強等、橋梁管理に関する専門的な知識及び技術力を修得し、資質の向上を図ることを目的とする。	5日間	10/12 ~ 10/16 (注1)	土木施設の維持管理に係る職員のうち、一定期間実務に携わる等の経験を有する者	・損傷のメカニズム、橋梁補修・補強、橋梁耐震補強 ・橋梁補修等現場実習
研修	トンネル管理実務者Ⅰ研修	道路法施行規則第4条5の2の規定に基づくトンネルの定期点検に関する最低限必要な知識と技能、及びトンネルの補修・補強の基礎的知識を修得することを目的とする。	5日間	9/28 ~ 10/2 (注1)	土木施設の維持管理に係る職員	・道路トンネル定期点検・診断の基礎知識、トンネルの施工、トンネルの補修・補強 ・点検現場実習
セミナー	河川点検・評価実務セミナー	老朽化による社会的な影響が大きく、点検による安全性の確認が急務となっている河川管理の実務的な点検の適切な実施・評価を行うための知識・能力等を付与し、実務能力の向上を図る。	2日間	11/4 ~ 11/5	20代後半~40代前半	・河川管理施設の点検に関する知識の付与を行う。 ・点検の実施、点検結果の評価、取りまとめに関する実習を行う。
セミナー	コンクリート技術セミナー	土木工事の基本となるコンクリートについて理解を深める。	3日間	8/17 ~ 8/19	土木技術職員	・コンクリートに関する基礎的な知識 ・コンクリートに関する各種試験の実習 ※アスファルト舗装技術セミナーとの連続受講可能です。
セミナー	アスファルト舗装技術セミナー	土木工事の基本となるアスファルト舗装について理解を深める。	3日間	8/19 ~ 8/21	土木技術職員	・アスファルト舗装に関する基礎的な知識 ・アスファルト舗装に関する各種試験の実習 ※コンクリート技術セミナーとの連続受講可能です。
セミナー	特殊車両通行許可制度実務担当者セミナー	道路法第47条の2第1項の規定に基づく特殊車両の通行を許可するため、初任者を対象に特許許可制度の必要な知識と演習を含めた技能の習得を図る。	3日間	5/11 ~ 5/13	特車両に携わる職員	・特許許可制度に関する法令及び許可事務手続きの理解 ・PCを使用した審査の演習
セミナー	BIM/CIMセミナー	BIM/CIM成果品を確認するために必要とする基礎知識の習得を目的とする。	2日間	【1期】10/26~10/27 【2期】12/3~12/4	技術系職員	・i-Constructionの概要、BIM/CIMに関する基準類の理解。 ・3次元CADソフトの操作方法及び成果品確認方法の演習。

※セミナーについては、上記以外にも整備局の各セミナー担当課から別途直接案内があるものがあります。

※研修日数は土日を含んだ日数を記載しています。

(注1) 8/31~10/21の間に行われる研修については、同時期に長期研修を実施するため研修所宿泊ができない可能性があります。その際は、お手数ですが近隣のホテルの手配を各自でお願いします。

(注2) 橋梁管理実務者Ⅰ(Ⅱ期)研修は山陰地区での実施を予定しています。宿泊の手配は各自でお願いします。